



ふれあいのまちKOB E・愛の輪運動

会員活動事例集

ふれあいのまちKOB E・愛の輪運動推進委員会

目次



1	ふれあいのまちKOBE・愛の輪運動とは	
	(1)運動の概要について	2
	(2)運動が発足した背景	2
	(3)運動を推進するにあたって	3
	(4)推進委員会事務局の取り組み	3
2	愛の輪会員の活動事例	
	既存会員の取り組み	
	・民生委員児童委員協議会の取り組み	
	東灘区 御影北部民生委員児童委員協議会による活動	5
	・自治会の取り組み	
	灘区 西郷連合自治会による活動	6
	・企業の取り組み	
	神戸ヤクルト販売株式会社による活動	7
	・労働組合の取り組み	
	三菱重工労働組合神戸造船支部による活動	8
	・婦人会の取り組み	
	長田区 真陽婦人会による活動	9
	・学校の取り組み	
	神戸市立桜が丘中学校生徒会と有志による活動	10
	新規会員の取り組み	
	・地域のボランティアグループの取り組み	
	北区 松が枝町地域ボランティアによる活動	11
	・ふれあいのまちづくり協議会の取り組み	
	中央区 吾妻ふれあいのまちづくり協議会による活動	12
	・学校の取り組み	
	神戸常盤女子高等学校ボランティア部による活動	13
	・ふれあいのまちづくり協議会の取り組み	
	垂水区 千代が丘ふれあいのまちづくり協議会による活動	14
3	おわりに	15
4	会員一覧	16



愛の輪運動をご存じですか。
ふれあいのまちK O B E ・愛の輪運動は
やさしさの心をはぐくむ神戸の市民運動です。

(1) 事業の概要について

ふれあいのまちK O B E ・愛の輪運動は、人と人とのふれあいの中で、「思いやり」「譲り合い」「助け合い」等の福祉の心をはぐくみ、ボランティア活動などの実践につなげ、「ともに生きる」地域社会づくりを目指した神戸の市民運動です。

会員には、地域の自治会や婦人会、行政、教育、医療・福祉関係、ボランティア、企業、労働組合などが参加して同運動の推進に取り組んでいます。

現在も企業や地域団体等がボランティア活動や社会貢献活動など様々な取り組みを行っており、運動を充実させると共に、広く市民への広報と福祉啓発を進めています。

(2) 愛の輪運動が発足した背景

平成2年10月19日、「ふれあいのまちK O B E ・愛の輪運動」が発足しました。

この運動のきっかけは、昭和62年、神戸市における福祉教育のすすめ方の研究会「神戸市福祉教育研究会」において、「福祉教育を市、市民、事業者の連携のもとに全市民運動として位置付け、市民の間に、福祉の心を育てていくため、学校教育・社会教育の場、地域・職域などいろいろな場で啓発活動をしていく必要がある。」という提言にさかのぼります。

主な事業内容は、愛の輪運動について紹介する情報誌の発行、講演会・講座の開催、「愛の輪コンサート」などの各種イベントの開催をはじめ、ポスター、テーマソング、作文の募集などの啓発広報活動で、他にも中・高生の福祉体験学習、会員活動の支援など様々な形で展開してきました。

この運動の趣旨に賛同した団体が会員となり、愛の輪運動の推進に取り組んでいます。会員は、地域の自治会や婦人会、行政、教育、医療・福祉、ボランティア、企業、労働組合など様々な団体で構成され、設立当初の会員数は177団体で始まりましたが、その後の増減を経て現在は約350団体が参加しています。

愛の輪運動の啓発広報活動として、様々なイベントの場において広く本運動の周知をはかり、ボランティア活動等の実践に取り組んでもらおうとPR活動を行ってきました。

平成3年度より、神戸まつりパレード、こうべ福祉・健康フェア、また平成11年度よりインフィオラータ、平成12年度4月には交通局ガレージセール等に参加し、平成10年度から、神戸市バスに

も愛の輪シンボルマークを掲載して市内を運行する等、現在では会員のボランティアの方々と協力してPR活動を行っています。

(3) 愛の輪運動を推進するにあたって

ふれあいのまちK O B E・愛の輪運動推進委員会は、ノーマライゼーションの理念に基づいた「ともに生きる社会」の実現のため、自らが人間尊重を基本とした「思いやりの心」「譲り合いの心」「助け合いの心」等の福祉の心を伸ばし育てるとともに、行動に結びつけていくことを目的として、①市民がボランティア活動を行いやすい環境づくりの企画・実施 ②講座・講演会等の開催 ③市民啓発用冊子の作成、配布、貸出 ④会員の行う自主事業への協力・援助等の事業を実施しています。

一方、会員は、愛の輪運動を推進するため自ら福祉活動の実践を高めていただき、それぞれの団体等の組織内での愛の輪運動の普及、推進などの役割を担っています。

これらの活動を通じて、愛の輪運動の普及、推進を図ることが期待されます。

(4) 推進委員会事務局の取り組み

○会員活動の支援

「思いやり」「助け合い」「譲り合い」などの福祉の心を育む福祉教育の推進と福祉活動の実践を目的に以下の事業を実施しています。

(1) 啓発・研修会の実施

- ・機関誌、社名封筒等への本運動名、シンボルマーク等の印刷による啓発
- ・社内報等の情報誌にボランティア活動等の情報掲載
- ・福祉講座（福祉体験学習など）の実施



情報誌 きずな・KOBÉの発行
(年3回)



「神戸ふれあい工房」マスコットキャラクター

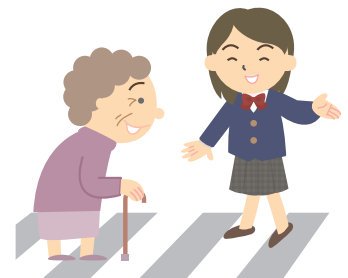
(2) 地域での取り組み

- ・ 区社協との連携による啓発
- ・ 地域での催しの開催や連携・協力
- ・ 社会貢献活動や地域での支援、助け合い活動等の実施
- ・ 各地域や団体が主催するイベントへの協力
- ・ 企業・労組のボランティア活動の推進とその支援
- ・ ボランティアに関する情報の提供



(3) 学校での取り組み

- ・ 中、高校生の福祉体験学習（ワークキャンプ）の実施
- ・ 福祉教育講演会の実施
- ・ 地域での福祉活動の実施、参加協力
- ・ 学校でのボランティア講座の実施
- ・ 愛の輪ポスターの募集



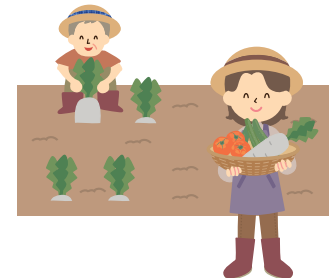
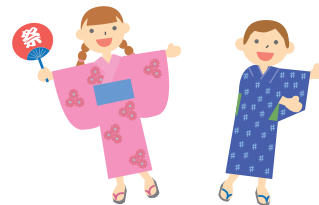
(4) 「神戸ふれあい工房」支援活動

- ・ 障がい者の自立と社会参加をめざすショップ&ギャラリー「神戸ふれあい工房」のPRと販売促進活動の実施



(5) 行事等への会員によるボランティアの参加、協力

- ・ 「こうべ福祉・健康フェア」への参加・協力



(6) 東日本大震災 ボランティア活動支援の取り組み

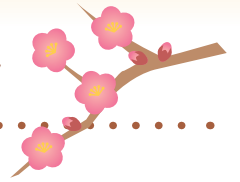
- ・ 夏休み学生ボランティア登録制度及び夏休み学生ボランティアバスの実施
- ・ 神戸市内避難者交流会の開催
- ・ 神戸市内避難者への支援活動（イベントへの招待など）



～～愛の輪シンボルマークについて～～

2つのハートの組み合わせでふれあいを表現し、人の形の中に神戸市章のイメージも取り入れ、赤のカラーでソフトにやさしさとふれあいのある福祉社会を表現したものです。

民生委員児童委員協議会の取り組み



東灘区 御影北部民生委員児童委員協議会による活動

障がいのある子と親が 安心できる地域へ

東灘区の御影地域では高齢化が進むなか、一方では近年のマンション建設により子どもの数が増えています。ここでは学校と民生委員児童委員との繋がりがあり、仲良し学級の生徒であった重度障がい児童の母親が困っている様子を目の当たりにした民生委員児童委員が、「なんとかか力になりたい」という想いから、夏休みなどの長期休業期間に子ども達と触れ合ったり、子どもの世話で閉じこもりがちな保護者の休息日をつくる活動を開始。工作・料理・クリスマス会や先輩ママの体験談を聞く会などを開いてきました。

そして、この夏は新たに「チャレンジ！おかいもの」活動をスタートしました。

この企画はコープこうべの協力のもと、障がい児童と民生委員児童委員が近所のミニコープへ買い物に行き、一緒に調理用の食材を購入。その間に保護者は地域福祉センターで、親同士の情報交換やコミュニケーションの時間を過ごします。購入する食材は、児童にわかりやすいよう写真付きのカードが用意されており、例えば肉が2パック必要なら2枚渡す、という工夫がされています。そして首から下げた財布で子ども自身に会計をしてもらい、買い物を通して児童の社会性、自立性を培うことをめざしています。普段と違う体験をして喜んでいる子どもの姿は、保護者にとっても嬉しいそうです。地域福祉センターに戻ったあとは、子どもたちの能力に応じて食事の準備をし、参加者全員で一緒に食べます。

「児童にとって何が必要で、親は何をしてあげれば良いのか。進学や就職など苦労する点もあるけれど、地域とのつながりを持つために自ら望んで参加する親御さんたちのためにも、こういった場が必要だと思います。」とご担当の主任児童委員は話されました。



御影北地域福祉センター



おかいものチャレンジ中！



カレーをみんなでいただきます！



自治会の取り組み

灘区 西郷連合自治会による活動

子どもたちのあいさつから、 これからの地域づくりを

「おはよう！」「おはようございます！」

神戸市灘区大石東町にある西郷小学校の通学路では、今朝も児童の元気なあいさつが聞こえてきました。

ここ西郷地区では、平成20年から「子ども見守り活動隊あいさつ運動」として、通学時間帯に見守り隊員を配置。児童たちの健やかな成長を願い、地域で見守っています。

活動をはじめたきっかけは、「現代社会において、児童への教育責任の所在が親ではなく学校に偏りがちとなっている」「地域のつながりが希薄になり、住民同士のつながりの第一歩であるはずのあいさつや礼儀が欠如してきている」といった意見が多く出されたことでした。

平成7年の阪神・淡路大震災以降、地域のつながりが再び強まったことがきっかけとなり、開始当初は児童の関心も薄かったものの、続けていくうち次第に浸透していき、今では好評とのこと。また、この活動によって通学路での児童の交通事故や犯罪の防止、児童や中学生たちのあいさつによる地域の活性化など、多くの相乗効果を生み出しています。

同自治会長は、「子どもの教育、しつけには愛とムチが重要。また、高齢者だけではなく若者にこそ町づくりに参加してもらい、自分たちの町を作っていくしてほしい。」と、熱く語られました。



見守り隊のピブスには「地域へそして地域から」の標語



地域全体で子ども達を見守り育てていく

企業の取り組み

神戸ヤクルト販売株式会社による活動



人も地域も コミュニティで健康に

昭和10年に「ハガキ1枚、タバコ1本の値段で健康を」という創始者・代田^{しろたみのる}博士の思いから、ヤクルトの製造・販売が始ってから、平成27年でちょうど80周年を迎えました。その中で神戸ヤクルトでは平成18年頃から方針を転換し、製品を単に届けるだけでなく、お客様を想う心を活かし、地域社会に密着しながらコミュニティを作る活動を始めました。

そのために社員やスタッフは、市民救命士講習会や認知症サポーター研修の受講、児童虐待防止・オレンジリボン運動に賛同するなど、積極的に地域福祉活動に参加しています。顧客を訪問した時などに万一のことに会った場合に備え、営業企画部係長は救急インストラクターの資格を持ち、救急用のマウスピースを携帯されています。

また、約330名のヤクルトレディを通じて、友愛精神を軸にした訪問販売で顧客と交流を深め、親身な相談援助などを行いながら地域内でコミュニティを築いています。

彼女たちと顧客で交わしたやり取りや情報は、好事例集として冊子化したり、週に1度事業所で報告会を開いて情報共有しています。社長は「現時点では1対1のやり取りがメインになっていますが、いずれこの情報をひとつの輪として共有できるようにしたい。」と話されていました。

地域コミュニケーターとしての活動も行っており、第一回目のコミュニティイベントはヤクルトレディが直接顧客に声をかけて告知し、篠山市で開催しました。

イベント内容は神戸ヤクルトが企画したもので、健康体操や、血管・肌年齢の健康チェック、焼きそばの提供など駐車場が満車になるほど高齢者約200人が集まり、大盛況だったそうです。

CSR活動としては長田あんしんすこやかセンターと共に独居老人を対象とした健康教室を開催したり、神戸市内全域の保育所、児童館に対する子ども向けボランティアなど、コミュニティを基盤にしたまちづくりに様々なかたちで貢献しています。



神戸ヤクルト販売株式会社



健康教室では体操などを紹介



健康教室のようす

労働組合の取り組み



三菱重工労働組合神戸造船支部による活動

地道な活動から人の手で 大きな活動へ

兵庫区和田岬町にある、三菱重工労働組合神戸造船支部(以下 神船支部)は三菱重工業株式会社神戸造船所に勤務する組合員約3,700人で組織されています。

労働組合の活動として過去からボランティア活動や地域貢献活動などに取り組んでいましたが、より地域に根差した活動を目指すため、15年前に個々に行っていた活動を包含する形で「神船社会福祉委員会」を立ち上げ、

神船支部が行うボランティア活動、地域貢献活動の具体的な推進を積極的に図っています。

まず、活動のひとつに発展途上国の子も達の支援を目的としたエコキャップ回収活動があります。

こちらは平成23年から会社と共催で活動しており、これまで集まったキャップの累計は155万個にもなり、860個で1人の子もへワクチンを送ることができるので約1,800人分に相当します。あわせてキャップ焼却によるCo2発生を約11,000kg抑えました。

そのほか自主的な活動として、地域との共生という観点から、月に1度、昼休みにクリーン作戦を実施しています。また、会社の各門前で募金を呼び掛け、神戸市社協を通して「交通遺児をみまもる会(神戸すばるの会)」への寄付を行っているほか、地元ふれあいのまちづくり協議会主催の各種活動への人的支援など、様々な活動に多くの社員・組合員が参加しています。

「一つ一つは小さな活動ですが、たくさんの人の手で大きな活動に広がり、継続していくことで厚みのある活動に成長していることを実感しています。」と、今回お話を聞かせて頂いた造船支部の執行委員のお言葉のように、このような堅実な活動が地域に定着し広がれば、ともに生きる福祉のまちづくりが実現することでしょう。



三菱神船労働会館



地域で餅つき大会なども行っている



婦人会の取り組み

長田区 真陽婦人会による活動



神戸からの祈り、 防災意識を伝える

長田区真陽地区は、現在も下町の風情が残る地域のひとつです。

その中の六間道商店街に店を営んでおられる真陽婦人会の会長に話を伺いました。

長田区は阪神・淡路大震災での火災による被害が特に大きく、毎年1月8日前後には、以前若松町にあった、空襲と震災から焼け残った防災壁で、その後、淡路市の北淡震災記念公園に移転された「神戸の壁」に、今も婦人会の方が訪れて鎮魂の式典を行っています。

そこに投影された影はまるで十字架を刻む様子なので「世界へ祈りを伝えていきたい」という想いを込めて、インターネットにも配信しているそうです。

また1月17日には、犠牲になった方たちの追悼と鎮魂を目的に、多くの方が犠牲になった大橋町のマンション入り口付近で、婦人会のみなさんによる炊き出しを行っています。

他にも、婦人会として障がいのある方や独居の高齢者などの友愛訪問活動を民生委員の協力を得て行っており、特に震災後は要援護者に対する聞き取りを個別に行い、ご本人に了解を得て要援護者名簿とマップを作成しました。この名簿やマップは南海トラフ地震の危機対応訓練など、要援護者支援の活動に役立てています。

さらに、この地域にお住まいの外国人の方に向けたふれあい交流会も毎年開催されており、六間道商店街では屋台や民謡、障がい者の方による講演会なども行っています。

震災以降、真陽婦人会として毎月ふれあい喫茶を3カ所で行っているほか、JR新長田駅などの清掃活動にも力を入れており、神戸市内の全婦人会が植花・植樹、環境美化活動にも取り組んでいます。

今回ご紹介した真陽婦人会が所属する神戸市婦人団体協議会は、このような単位婦人会の活動に加え、子どもへの支援、防犯など「人にやさしい神戸をめざして」次世代につなぐ地域力としてさまざまな貢献活動を行なっています。



六間道商店街

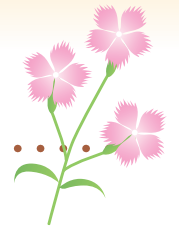


避難訓練時、車椅子の方を介助



阿波踊パレード等も開催される

学校の取り組み



神戸市立桜が丘中学校生徒会と有志による活動

生徒から生徒へつながる 募金活動

神戸市西区の静かな住宅街にある神戸市立桜が丘中学校では、大きな災害が起こるたびに生徒会と生徒有志の呼びかけによって募金活動を行っています。

同校では、阪神・淡路大震災の際に海外からも多くの支援を受けたことから、平成23年のオーストラリア・ブリスベン市での洪水による災害を機に生徒会を中心に募金活動を行いました。

平成27年に起こったネパール大地震の際には、約30名の生徒会役員と生徒有志によって、登校時に校門前と神戸電鉄駅前
で募金活動を行いました。生徒たちはふだん登校時に財布を携行していないため事前に告知を行い、配布プリントから封筒を組み立て、それを持参できるようにしました。募金に参加している有志の生徒が友人に声をかけて広めるなど周知に努めた結果、多くの生徒やその家庭からの支援があったそうです。担当教諭によると、この活動に参加した生徒は大きなやりがいを感じ、とてもはりきっていたそうです。

桜が丘中学校では他にも青少年育成協議会(青少協)とディスカッションを行い、ここでは初の試みとして夏休みに1回、校区内の清掃活動を行っています。当初は校区内の自治会とスケジュールの都合が合わず、すぐには実現しませんでした。しかし、地域との繋がりを強化したいという思いは強く調整の結果、実施に至りました。

これからも、このような地域に密着した助け合いの精神が生徒たちの間に根付いていけば、きっと思いやりあふれる社会の実現に近づいてゆくことでしょう。



神戸市立桜が丘中学校



生徒同士で積極的に募金活動に協力



地域のボランティアグループの取り組み



北区 松が枝町地域ボランティアによるふれあい喫茶の活動

柔らかな雰囲気にもまれた ふれあい喫茶

神戸市北区、小高い丘の閑静な住宅街にある松が枝町自治会館に和やかな笑い声が響きます。

月に一度開催されている「ふれあい喫茶」では、地域住民だけではなく「障がい者支援施設 みのたに園」から施設利用者たちが訪れ、交流を深めています。

このふれあい喫茶は、10年前から続いています。

私たちが訪れたこの日は、開始時間の10時を過ぎると、地域住民の方たちや「みのたに園」の利用者の方たちが続々と集まり始め、曇り空だった天候も次第に晴れ間が広がり、陽が差し込む明るい館内は和気あいあいと一層にぎやかに。

参加者に話を伺ったところ、お茶とお菓子の提供だけでなく、プレスレットを製作する簡単な講座なども行っているそうで、実際に身に付けていた自作のプレスレットを見せてくださいました。11月のこの時期は、クリスマス会に向けて歌の練習などを積極的に取り組んでおられました。

町の開発から40年近くが経過し、子どもたちの声も少なくなった松が枝町。

壁に掲げられている『明るい町をとり戻そう！みんなの力で元気な町に！』のスローガン通り、住民のみなさんは終始ふれあい喫茶を楽しんでいる様子でした。

分け隔てない交流を大切にしているとのことで、アットホームなコミュニティを感じることができました。



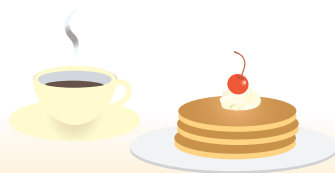
参加者が続々と来館し、慌ただしくなる湯沸し室



住民同士の交流が活発に行われる館内



受付のみなさんたち、とてもいい笑顔で迎えてくださいました！



ふれあいのまちづくり協議会の取り組み



中央区 吾妻ふれあいのまちづくり協議会による活動

困ったら“ふれまち”に 「何でも言うてや」!

神戸市中央区吾妻通、^{おおやすてい}大安亭市場の近くにある地域福祉センターでは、日常的に多目的室を開放し、悩みを抱えた地域住民の受け皿として機能しています。

この取り組みは既存の相談事業とは異なり、時間の制約を極力廃した上で、特定の窓口では敷居が高いと感じてしまうような相談ごとを、身近な存在である地域の力で解決につなげようというものです。中央区社協が平成23年から開始した地域福祉ネットワーク事業の初年度に、吾妻地区がモデル地区として指定され、ネットワーク会議からの要望を受けて、地域で何でも言える相談できる場として『何でもいうてや』と名付けたとのことです。この活動は平成24年4月からスタートし、当初はPR用の腕章を着けてふれあいサロンなどに参加することで地域住民にも少しずつ周知が広がり、浸透していきました。

相談件数は月に1～2件。相談者は高齢者層で、女性が中心とのこと。内容は身近なことが多く、いわゆる終活に関することやゴミの問題など、地域に関する様々な相談が寄せられています。実際に住民からの、近隣店舗から出るゴミの苦情を受けて直接、店舗に掛け合った結果、従業員が当番で清掃活動をするようになった例があったとのこと。解決が難しいケースは行政へ繋げるなど、橋渡しの役目も担っています。一人暮らしで誰かと会話したいという高齢者にとって、気軽に相談できることが地域とのつながりとなっており、助け合いの輪が広がっています。

他にも、外国籍の世帯や就学前の子ども達への学習支援、月に1度のデイサービスとふれあいサロン、日曜喫茶なども構成団体の協力により積極的に行っています。神戸で最初にふれあい給食がスタートした地区でもあり、その際に協力を受けた賀川記念館とも連携を取りながら、地域全体でとても活発な活動を行っています。



話しやすい委員長の人柄が活きる



地域住民との情報交換のようす



学校の取り組み



神戸常盤女子高等学校ボランティア部による活動

震災から受け継ぐ ボランティア・スピリット

神戸市長田区にある神戸常盤女子高等学校では、部活動として「ボランティア部」があり、地域に寄り添った活動が生徒によって継続的に行われています。

ボランティア部は、平成7年に起きた阪神・淡路大震災がきっかけとなり、生徒の中から自発的に発足しました。以後現在に至るまで約20年間続いています。部員数は15名。放課後に週2回、「神戸市立細田児童館」と有料老人ホーム「長田すみれビレッジ」に数人ずつ分かれて訪問。平成27年に起こったネパール大地震の際は募金活動を行いました。他にも地域団体と連携し、部員各自が興味関心を持った地域イベントに個人で参加したり、文化祭では地域の作業所の方々を招致し、模擬店を開催しているとのこと。

入部希望者は、意外にも引っ込み思案な生徒が多いようですが、自分を変えたい、社会貢献したいといった動機で入部して、将来は福祉関係への従事を希望している生徒が多いそうです。毎週金曜日にはミーティングが行われ、反省会を兼ねて先輩からアドバイスと元気、やる気を貰います。

入部したての1年生の時には児童や高齢者の方と上手くコミュニケーションが取れず、試行錯誤しながら3年目でようやく役に立てるようになることが多く、参加した生徒は「たくさんの方に出会い、誰かのために、社会のために活動していることを知った。そんな方々の温かさや地域のきずなを感じることができ、自らを高めることができた。将来は活動が学校全体に広がって欲しい。」と感想を寄せていました。

ボランティア受け入れ先の職員の方からも「人手不足で出来ない企画が実施できるありがたさと、職員とは違う年齢層と関わる事で利用者の生活に変化が生まれ、職員とは違う目線での接し方に気付かされる事がある。」と感謝の言葉を述べられています。

生徒による、地域と共に生きる積極的なボランティア活動が評価され、外資系金融サービス機関によるボランティアスピリット賞を過去に2回受賞しました。

お話を伺った顧問の教諭は「今後も生徒たちひとりひとりが成長するきっかけとなり続けることを願ってやみません。」と話されていました。



神戸常盤女子高等学校



模索しながら交流を深めていく生徒



ボランティア部のみなさん

ふれあいのまちづくり協議会の取り組み

垂水区 千代が丘ふれあいのまちづくり協議会による活動



相手の笑顔が ボランティアの原動力になる

垂水区千代が丘地区では平成27年8月30日、ふれあいのまちづくり協議会と防災福祉コミュニティが共同で、災害の発生に備えた要援護者に対する災害対応の模擬訓練を行いました。この活動は「サポートカード」と呼ばれる要援護者支援登録票を事前に対象者に送付し、うち登録した344名の高齢者など要援護者宅を一斉訪問したものです。



地域福祉センター

活動は実際の災害発生時を想定して、あえて事前連絡をせずに対象者宅を訪問しました。訪問した際、皆さん口をそろえて「来てくれてよかった」と喜ばれたそうです。直接顔合わせをする事で交流と見守りと活動を兼ねる事が出来ました。また、不在だったお宅にはあらかじめ用意しておいた訪問票を投函するなどの工夫をしました。訓練後には反省会が開かれ、それぞれの意見を収集し次回の活動に活かすために記録として残しました。

お話をうかがったふれまち協の副委員長は「よく人から『どうしてそこまでボランティア活動をするんですか?』と聞かれる事がありますが、それは、相手の笑顔がどのような価値にも替えがたい原動力になるからです。活動を通じて多くの人と関わることができ、自分自身も幅広い知識を得ることができるからです。」と話されていました。

またこの地区では、認知症による徘徊者SOS模擬訓練を実施するなど、普段から地域にお住まいの方が認知症になっても安心して暮らしていける地域づくりを目指して、徘徊高齢者のお気持ちに配慮した声かけや見守り活動を行っています。

ふれまち協の委員長は「何もしなければゼロのままですが、少しずつでも続けていきたいです。」と話され、終始和やかに、しかし熱心に活動に取り組まれている様子がお話から伝わってきました。



訪問時のようす

千代が丘サポートカード

千代が丘防災福祉コミュニティ
千代が丘ふれあいのまちづくり協議会
神戸市垂水区社会福祉協議会

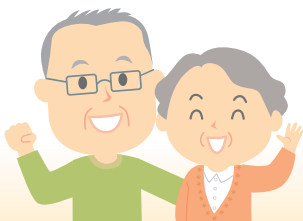
どちらかを見てください

要援護者登録済 希薄する 希薄しない

年 月 日 作成
年 月 日 更新
年 月 日 更新

お名前 (ふりがな)	性別	年齢
氏名	男 女	歳
生年月日 西暦・大正・昭和・平成	年齢	歳
お住まいの住所	電区(せんく)名(ごう)	
家族構成 お一人暮らし () 人		
緊急連絡先		
1	()	()
2	()	()
日常生活での活動や困難な状況		
1 高齢(65歳以上)で単身、または75歳以上のみの活動の労		
2 行動距離の短縮(歩行)が困難な労 () 認知症 ある なし		
3 認知症(軽度)を患っている労 () 認知 認知 認知 認知 認知		
4 認知症(重度)を患っている労 () A A以外		
5 精神障害(軽度)を患っている労 () 精神		
6 精神障害(重度)を患っている労 () 精神		
持病	1 ある	2 なし
常備薬	1 ある	2 なし
かかりつけ医療機関	()	
連絡先	()	
認知症	()	
認知症	()	

千代が丘サポートカード



おわりに



(まとめ 今後の方向性)

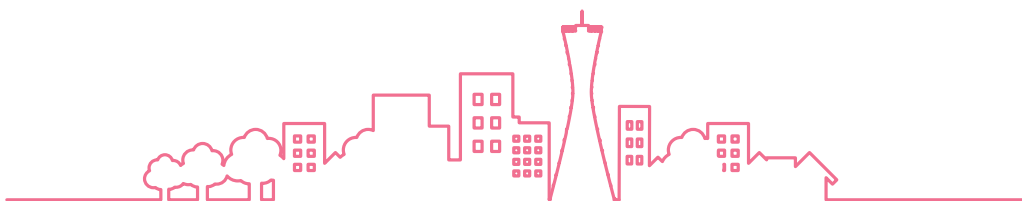
平成2年に「ふれあいのまちKOB E・愛の輪運動」が発足し、当初は神戸市における福祉教育を中心に、市民の間に福祉の心を育ていくため、学校教育・社会教育の場、地域・職域などいろいろな場で啓発活動を進めてきました。

その後、愛の輪運動について紹介する情報誌の発行、講演会・講座の開催、「愛の輪コンサート」などの各種イベントの開催を始め、ポスター、テーマソング、作文の募集などの啓発広報活動を通じて、会員活動の支援など様々な場面で展開しています。

この愛の輪運動の推進に取り組んでいる様々な会員自身が、主体的に愛の輪運動を進め、会員相互のネットワークを図りながら、それぞれの持ち味を活かした取組みとして実を結び、福祉の心であふれる神戸のまちづくりを願って、これから会員の参加の促進と事業の展開も取り組んでいきます。

なお、本冊子が、今後の愛の輪運動の理解と活動に取り組む上で皆さまの一助になれば幸いです。

ふれあいのまちKOB E・愛の輪運動推進委員会事務局





発行：ふれあいのまちKOBÉ・愛の輪運動推進委員会

事務局：神戸市社会福祉協議会 広報交流部

神戸市中央区磯上通3-1-32

電話 (078) 271-5306

FAX (078) 271-5365